

The image features large, bold, blue stylized text. On the left is the character '公' (Kō) and on the right is '明' (Miyake). Between them is a red sun-like icon with eight rays. Below this graphic is a yellow banner containing the text '市議会ニュース' (City Council News).

発行所／高知市議会公明党  
住 所／〒780-0870  
高知市本町4丁目1番24号  
TEL:088-823-9403  
FAX:088-871-2485

2016年(平成28年)5月1日 第33号

高知市議会 KOMEITO 公明党



第455回

# 高知市 議会 定例会

## 平成28年度当初予算に市民の立場で鋭く言及!!

寺内憲資議員は、代表質問を行ないました。

## ◆商品券と旅行券の効果

**問** 公明党の主張で実現した地域の商店街に活性をもたらす「プレミアム商品券」と「龍馬のふるさと旅行券」を高知市も発行したが、その経済効果を伺う。



# てらうち のりよし 寺内 憲資 議員

◆北部地域の浸水対策について  
平成26年8月の集中豪雨より、地域と連携して  
実施してきた被害の実態調査や課題等の洗い出し  
議会への請願をふまえ、3度にわたり議会提案を行  
つてまいりました。

## ◆北部地域の浸水対策について

高木妙議員は、27年度に貫して取り上げた地方創生、防災対策について質問しました。

◆健康寿命延伸で自然消滅へ

「ケア産業」を創出し、課題解決を求めていた。

執行部からは、28年度より「いきいき健康大作戦」

など生活習慣病予防の推進を図る。また新産業構築には、「プロジェクトチームの設置も視野に入れながら、府内の横断的な組織体制を築いていく」との答弁を得ました。これにより、地方創生のテーマである「地方に仕事を生み人口の流入を図る」そして、健康寿命の延伸が図られる事を望んでいます。

胃がん検診の変更点と今後の導入について

菌感染が影響している事からも、内視鏡検査のスクリーニングとして、ピロリ菌検査導入を求め、無症状者への身体的負担の軽減、胃がんの早期発見・早期治療につなげる事が重要だとし、今後の検討事項について指摘しました。

地圖編製法

本市で初めて策定された「一地域防災計画」は、地域特性の分析と、これまでの災害の教訓を基にした実行性ある計画を作り上げる事が今後のモデルとなる事を指摘し、高知市防災計画への位置付について質しました。岡崎市長から、計画策定の節目で、「市長の意見を聞く」という場合には、「日程が合えば出席する」との答弁を得ました。

※高知市議会のHPで録画がご覧いただけます

その事業効果を問うとともに、実施後も浸水が発生する可能性のある個別の箇所について対策を求めたところ、執行部から前向きな答弁を得ました。

同様に、住民の皆様とともに調査活動を進めてきたツ橋町一丁目・二丁目と三園町、および西秦寺の浸水対策に対し、秦ボンプ場の機能が強化されることに伴い、検討する土台が整ったとして今後取り組みを強く要請しました。



にしもり みわ  
**西森 美和 議員**



たかぎ たえ  
高木 妙議員



平成28年度は、夢と希望にあふれる「にぎわいと暮らし安心のまちづくり」を目指し、将来を見通した安定的な財政運営を基本として、さらなる財政健全化に向け、引き続き行財政改革に取り組むとしています。

南海トラフ地震対策をはじめとする安全・安心のまちづくりを最重点に置き、子ども子育て関連の課題解決に積極的に取り組み、人口減少・少子高齢化に歯止めをかけることを目指した予算編成となっています。

\*一般会計のみで、特別会計、企業会計は含みません。  
※人口は H28.2.1現在の住民基本台帳人口

# 高知市 平成28年度当初予算概要



## 公明党の提案が実現 新生児聴覚検査事業が 平成28年度より無料で実施

新生児の聴覚障害は、早期に発見され適切な支援を受けることにより、言葉と心の成長が促進されると言われています。

このことから、高知市議会公明党では平成15年の議会提案より、毎年度の予算要望でも提案を続け、ようやく平成28年5月1日以降に出生した新生児から無料で、耳の聞こえが正常かどうかを判断する「自動聴性脳幹反応(AABR)」による検査を実施することになりました。

【詳細は「あかるいまち5月号」をご確認ください】



## 子どもの医療費助成を 平成28年10月から実施

小学6年生までの全ての子どもが対象  
所得制限なしで無償化!



今年は「花」も「団子」も大いに楽しみながら、「いのちを守る防災」が先人の知恵によってこんなに身近なものになつてゐることに感謝しました。私は進める防災の取り組みが「土手の花見」のように文化として、次の世代に引き継がれるよう「やらかい心」で考えたいと思います。

興味深いのは災害対策として土手に集まるよう呼びかけるのではなく、自然のうちに心が動く花見として定着化させたという点です。

春を迎えた土手の内部では霜や氷が解けることによって、無数の小さな穴が生じてしまします。これが土手の機能を弱めている原因でした。

**太陽**

(白桃)